

令和6年度  
久御山町環境報告書  
(地球温暖化対策等)



久御山町

# 環境報告書 目次

## 令和5年度事業

- 1 久御山町環境政策プロモーション業務（1年目）・・・・・・・・・・ 3
- 2 環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議（地域新電力事業検討）・・・・・・・・ 11

## 令和6年度事業

- 1 久御山町環境の日イベント・・・・・・・・・・ 15
- 2 久御山町エコアクション推進事業運營業務（新規事業）・・・・・・・・・・ 17
- 3 脱炭素促進補助金の創設（新規事業）・・・・・・・・・・ 20
- 4 久御山町環境政策プロモーション業務（2年目）・・・・・・・・・・ 24
- 5 環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議  
（地域新電力事業検討部会〔2年目〕・次世代自動車普及促進部会〔新規事業〕）・・・・ 31
- 6 LED一斉導入事業（新規事業）・・・・・・・・・・ 35
- 7 京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）事業（連携事業）・・・・・・・・・・ 36
- 8 その他（連携事業）  
（食品ロス削減京都府連携事業・ファミリーマートフードドライブ連携事業）・・・・ 37
- 9 令和5・6年度事業における課題と検証・・・・・・・・・・ 40

## その他

- 1 計画に定める温室効果ガスの削減に関する検証について・・・・・・・・・・ 43

# 令和5年度事業

# 1 久御山町環境政策プロモーション業務（1年目）

## 1 概要

久御山町環境基本計画に定めた施策を推進していくため、本町における環境ブランド力の向上と町内外への効果的なPR、施策推進に対する新たな付加価値を創造し、住民のシビックプライド（まちに対する住民の誇り）の醸成やまちの魅力向上、施策推進のための協働体制の基盤構築につながるプロモーション事業を実施。

## 2 計画上の位置づけ

計画第5章目指すべき将来像の実現に向けた取組「重点目標の設定」

### ■ 久御山版環境プロモーションによるシビックプライドの醸成

#### プロモーションの推進 <関連する基本目標：基本目標6>

本町を環境ブランド力の高いまちとして町内外へ効果的に周知し、住民のシビックプライドの醸成やまちの魅力の向上を図るとともに、関係人口の増加につなげるなど、プロモーション業務に取り組みます。

#### 「ALL 久御山」による活動の促進 <関連する基本目標：全基本目標>

環境活動やカーボンニュートラルに関わる住民、事業者、行政による「ALL 久御山」の絆<sup>きずな</sup>で活動を促進します。特に、子どもの時から身近に環境に関する取組にふれる機会を創出し、協働による活動の価値を高めながら、子どもたちにとっても誇りを感じる魅力的かつ先進的な環境のまちづくりに取り組みます。

#### 環境に関する意識の醸成 <関連する基本目標：全基本目標>

「久御山町環境基本条例」に基づき、住民、事業者をはじめとした関係者に対して、条例を広く周知・広報するとともに、6月5日の「久御山町環境の日」にあわせてイベントを開催するなど、環境に関する意識醸成に取り組みます。また、環境意識が事業者や人材、リーダーの育成を図ります。

#### 「地域共生型」のまちづくりの推進 <関連する基本目標：全基本目標>

環境政策の推進とともに、「地域共生型」のまちづくりを推進するため、中央公民館の跡地に中核となる施設「全世代・全員活躍まちづくりセンター」を整備し、社会教育・生涯学習の機能に加え、子育て支援、子どもからシニアの活動支援、多世代・多文化交流などと連動した久御山モデルの「地域共生型」のまちづくりに取り組みます。

## 3 実施期間

令和5年9月1日～令和6年3月22日

## 4 事業内容

### (1) 久御山町環境基本計画等に関する周知・PR

#### ① スタートアップシンポジウムの開催

環境基本計画を広く周知、PRするためにスタートアップシンポジウムを開催。

#### (開催概要)

日 時：令和5年12月23日(土)午前10時～12時

場 所：久御山町役場5階コンベンションホール

参加者数：約80名

開催内容：

#### (1) 「久御山町環境基本計画の策定について」

説明：信貴町長

#### (2) 講演①「脱炭素・エネルギー自立と地域社会の発展を目指して」

講師：滋賀県立大学 准教授 平岡 俊一 氏

#### (3) 講演②「身近にできる地球に優しいECOな暮らし」

講師：環境省登録環境カウンセラー 武本 佳弥 氏

久御山町

地球温暖化対策

カーボンニュートラル

自然との共生

循環型社会

環境と経済の両立

はじめる!ゼロカーボン くみやま

**環境って幅広い!**  
**多様な視点で久御山町の環境を考える**  
**シンポジウム**

～久御山町環境基本計画(地球温暖化対策実行計画「区域施策編」含む)のスタートアップ～

令和5年

開催日時 **12月23日(土)** 10:00～12:00

入場無料 (申込不要) ※ご来場いただいた方に記念品をお渡しいたします。

開催場所 **久御山町役場5階コンベンションホール**

久御山町環境基本計画(地球温暖化対策実行計画「区域施策編」含む)の策定について

久御山町長 **信貴 康孝**

主催 / 久御山町役場

基調講演① 脱炭素・エネルギー自立と地域社会の発展をめざして

滋賀県立大学 准教授 **平岡 俊一 氏**

参加協働型の脱炭素地域づくり推進のための仕組み・組織づくり

基調講演② 身近にできる地球に優しいECOな暮らし

環境省登録環境カウンセラー **武本 佳弥 氏**

株式会社シューラルシ 代表取締役 NPO法人環境カウンセラー会ひょうご 副理事長 など

【お問い合わせ先】久御山町事業環境部 産業・環境政策課  
電話：075-631-9964 / 0774-45-3914 E-mail : sangyo@town.kumiyama.lg.jp



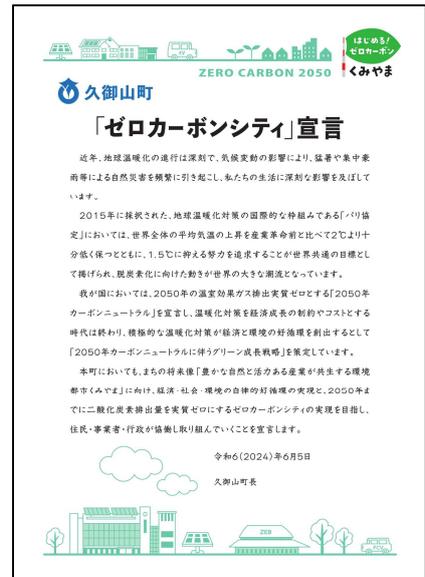
(町長講演の様子)



(有識者講演の様子)

## ②ゼロカーボンシティ宣言に関する支援

環境基本計画の基本目標として、2050年カーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、久御山町において「ゼロカーボンシティ宣言」の表明を令和6年度に予定し、その支援業務として、ゼロカーボンシティ宣言の紙面デザイン案を作成。



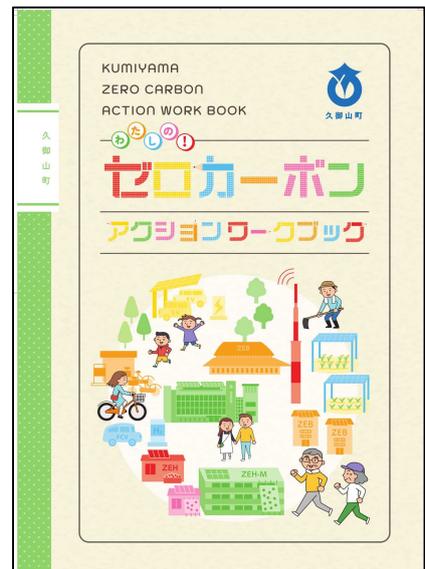
## ③環境基本計画の啓発冊子の作成

久御山町における各種の環境施策を推進するためには、久御山町環境基本条例に定める環境政策の基本理念、方針を広く浸透させるとともに、環境基本計画を広く周知し、施策に対する理解を深めることが必要不可欠となる。そのため、これらの事を広く周知するための啓発冊子を作成。

- ・ A4版8頁、1,000部作成。

「わたしのゼロカーボンアクションワークブック」

- ・ 内容は、小・中学校等での環境教育やワークショップ等で活用できるようにイラスト等を多用したわかりやすい構成とした。



## (2) 環境ブランド力の向上に向けた基盤づくり

### ①町内事業者・農業者へのヒアリング調査の実施

久御山町の大きな特徴として、工業と農業の二大産業による「ものづくりのまち」が挙げられるが、環境基本計画に定める各種の環境施策に取り組むうえで必要となる町内事業者・農業者との協力体制の構築及び環境活動と経済活動の双方の発展を促す新たな付加価値の創出に資する取組として、町内事業者・農業者へのヒアリング調査を実施。

#### (実施事業者数)

- ・ 農業事業者、農業関連事業者 合計4団体 (令和5年10月に実施)
- ・ 事業者、商工会 合計5団体 (令和5年12月～令和6年3月にかけて実施)

## ②環境ブランド化を推進するPRロゴ及び啓発品の作成

久御山町を「環境のまち」としてブランド化し、町内外へPRするためのプロモーションツールとしてロゴマークを作成し、あわせてそのロゴマークを活用した啓発品を作成。

- ・ロゴマークは2点作成。
- ・ロゴマークを活用した啓発品として、クリアファイルを500部作成し、スタートアップシンポジウム開催時の啓発品として配布。
- ・ロゴマークを活用したのぼりを20旗作成。

ロゴマーク



啓発品 (クリアファイル・のぼり)



### (3) 環境に関する意識醸成の推進

### (4) 環境施策の推進主体となる人材（リーダー）の育成

久御山町における環境施策の推進にあたり、住民・町内事業者・その他関係者等に対する意識醸成を図りながら、自分事として主体的に取り組んでいく人材づくりが重要となる。ワークショップや環境学習を通じて、環境施策に積極的に取り組む人材づくりを進めるため、各種環境教育及びワークショップを実施。

#### ①ワークショップの実施

アンケートでは拾いきれない意見や考え方を共有するとともに、具体的に「どういった活動をすればいいのか」「どういった情報を共有していけばいいのか」を考え、実行するしくみづくりとして実施。

#### (開催概要)

- ・開催日時 令和6年2月16日（金） 15時～17時
- ・開催場所 久御山町ふれあい交流館ゆうホール2階交流ホール
- ・参加人数 12名
- ・実施テーマ 「はじめる！ゼロカーボンくみやま  
～未来の子どもたちにつなぐ、地球に優しい環境～」

The poster is green and white. At the top left is the Kumiyama logo. The main text reads 'はじめる！ゼロカーボンくみやまワークショップ' (Starting Zero Carbon Kumiyama Workshop). Below this, it says '令和6年 開催日時 2月16日(金) 15:00～ 概ね2時間程度' (February 16th, Friday, 15:00-17:00, approx. 2 hours). The venue is '久御山町ふれあい交流館ゆうホール2階交流ホール' (Kumiyama Town Fureai Kaikokan Yū Hall 2nd floor exchange hall). A note states: '久御山町では令和5年10月に環境基本計画を策定し、いよいよゼロカーボンに向けた実行フェーズに入ります。一緒に「ゼロカーボンくみやま」に向けて歩みをスタートさせませんか。' (Kumiyama Town has formulated the Environmental Basic Plan in October 2023, and we are now entering the implementation phase for zero carbon. Let's start our steps towards 'Zero Carbon Kumiyama' together, shall we?). Contact information: '【申し込み先】電話またはメールにてお申し込みください' (Apply by phone or email), '久御山町事業環境部 産業・環境政策課' (Kumiyama Town Business Environment Department, Industry and Environment Policy Section), '電話：075-631-9964 / 0774-45-3914', 'E-mail: sangyo@town.kumiyama.lg.jp'. A red box at the bottom right says '参加申込期限 令和6年2月7日(水)まで' (Application deadline: February 7th, Wednesday, 2024). The bottom of the poster says '主催 / 久御山町 産業・環境政策課' (Organized by Kumiyama Town, Industry and Environment Policy Section).



## ②カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」を活用した環境学習の実施

環境基本計画に示す温室効果ガス削減に関する2030年目標並びに国の示す2050年カーボンニュートラルの達成に向け、脱炭素と経済活動の関係性や地球温暖化防止の行動変容に働きかけるシミュレーションカードゲームである「2050 カーボンニュートラル」を活用し、ゲームを通じてわかりやすくカーボンニュートラルを学ぶ機会を創出。

### (計画上の位置づけ)

計画第5章目指すべき将来像の実現に向けた取組

「基本目標6 環境教育・活動の充実」

## 基本目標6 環境教育・活動の充実

### ■環境教育・活動の充実に関する背景及び趣旨

#### ■環境に関わる学びの推進と活動の促進

- 若年層からの環境意識の醸成に向け、学校教育における地域環境学習や自然体験活動を進め、将来を担う子どもたちが地球温暖化や脱炭素について学ぶ機会を創出する必要があります。
- 本町を環境ブランド力の高いまちとして町内外へ効果的に周知し、住民のシビックプライドの醸成やまちの魅力の向上を図るとともに、関係人口の増加につなげるなど、プロモーション業務に取り組みます。また、「久御山町環境基本条例」に基づき、6月5日の「久御山町環境の日」にあわせてイベントを開催するなど、環境に関する意識の醸成に取り組みます。

### ■関連するSDGsのゴール



### ■久御山町環境基本条例との整合性

○第16条  
(環境の保全等に関する教育及び学習等)



### ■重点指標/成果指標

指標	現状値 【令和4(2022)年度】	目標値 【令和12(2030)年度】
広報・HP等での環境に関する情報提供 (年間掲載件数)	59件	120件
環境学習参加者数(年間/人)	350人	700人
環境施策に関するワークショップの参加 人数(年間/人)	29人	100人
環境への関心割合(「とても関心がある」 「ある程度関心がある」の合計値) (中学生アンケート)	51.5%	80%

## 6-1 環境に関わる学びの推進と活動の促進

### 具体的な取組① 環境教育・学習機会の提供

- 府が実施している「京都環境フェスティバル」や「KYOTO 地球環境の殿堂」など、様々な環境教育・学習機会と連携し、環境を学べる機会の充実を図ります。
- 「久御山町環境基本条例」に基づき、6月5日の「久御山町環境の日」にあわせて、各種イベントを開催します。
- 学習指導要領に則した環境教育や自然体験教室を実施するほか、エコクッキングの普及、食品ロス削減の普及啓発に努めるとともに、成果が見えるSDGsに関する取組を検討します。

## (実施概要)

### ●佐山小学校環境学習

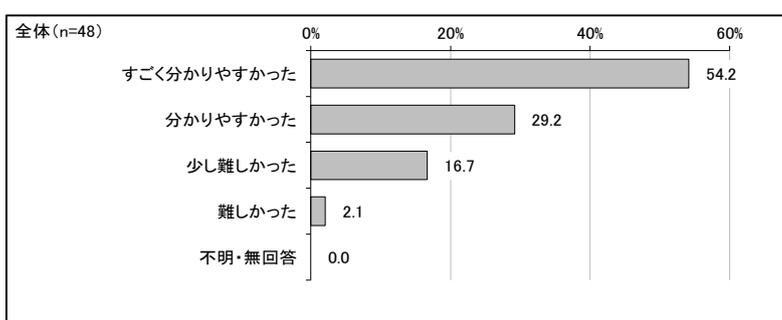
日時：令和5年12月7日（木） 9時30分～10時15分  
10時35分～11時20分

対象：佐山小学校4年1組26名、2組26名

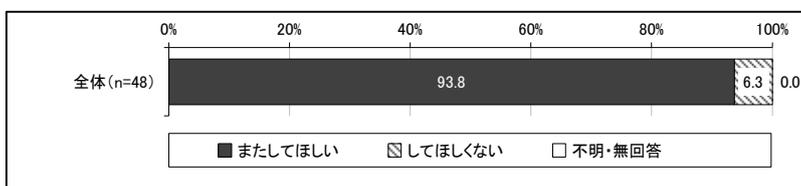
内容：佐山小学校4年生については、総合学習の時間の中で環境問題に関する学習を行っていたことから、児童が課題設定を行なった「地球温暖化」、「気候変動（異常気象）」、「森林破壊」、「大気汚染」、「海洋汚染」をテーマに学習を行なった。



Q 本日の環境学習はどうでしたか。



Q また、こういった環境学習をしたいと思いますか。



### ●佐山小学校カードゲーム

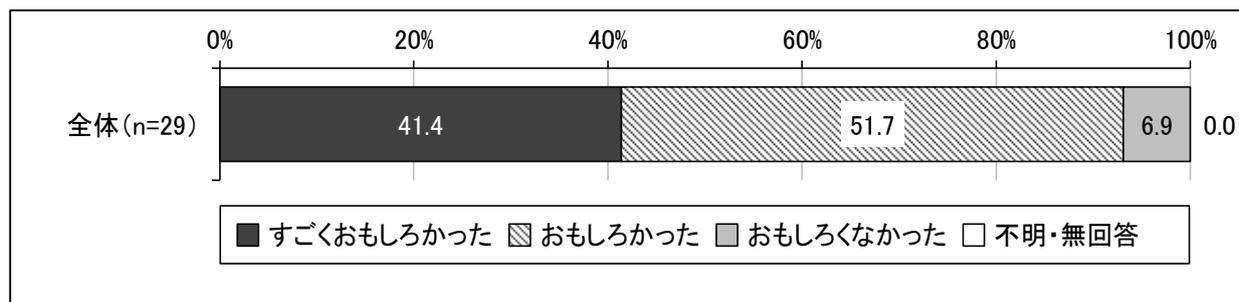
日時：（第1回目）令和5年12月20日（水） 10時35分～12時10分  
（第2回目）令和6年1月26日（金） 14時20分～15時5分

対象：佐山小学校5年生38名

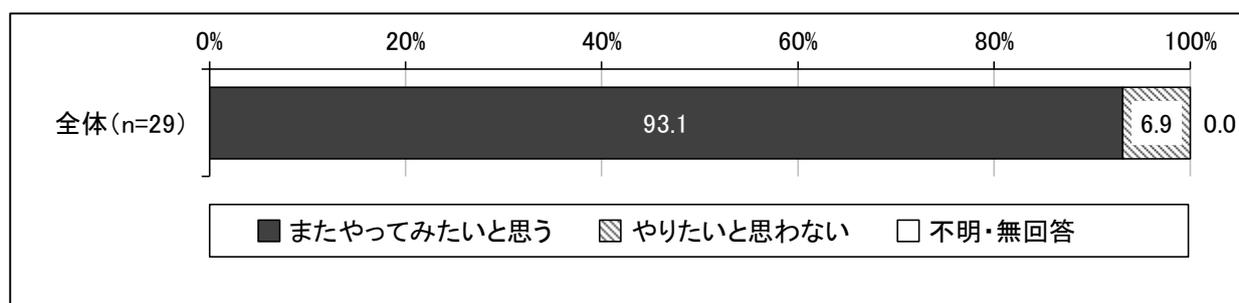
内容：脱炭素と社会経済の関係性を楽しく学ぶことができるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を実施。なお、第1回目が好評であったため、担任教諭から参観日にあわせた実施要請を受けて、第2回目を実施。



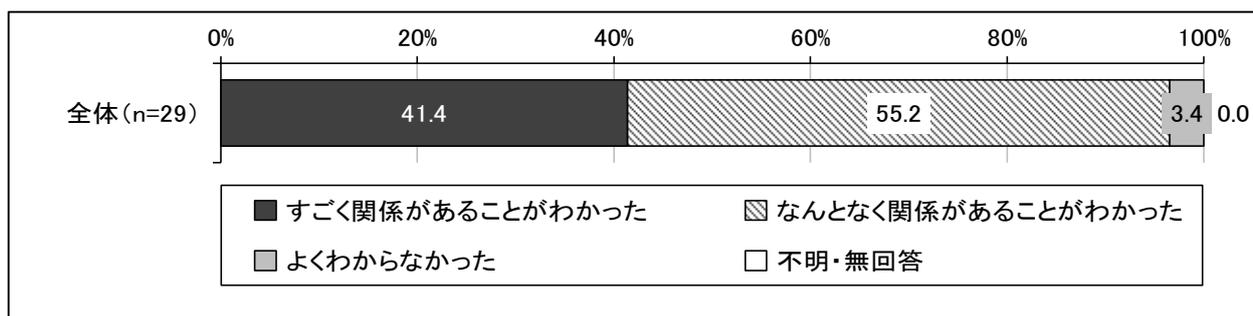
Q カードゲームをやってみてどうでしたか。



Q カードゲームをまたやってみたいと思いますか。



Q カードゲームをやってみて、地球温暖化と社会の関係がわかりましたか。



●久御山町職員環境研修

日時：令和6年2月14日（水） 10時～12時

対象：久御山町役場職員（当日参加者37名）

内容：職員の脱炭素の意識向上を図るため、脱炭素と社会経済の関係性を楽しく学ぶことができるカードゲーム「2050 カーボンニュートラル」を実施。



### 3 WG会議委員名簿

久御山町環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議 構成メンバー			
◇構成メンバー		※50音順・敬称略	
役職	氏名	所属団体等	備考
コアメンバー	泉 真吾	京都銀行 公務・地域連携部 観光・地域活性化室長	金融機関
	片岡 幸富	久御山町商工会 課長兼経営支援員	商工業
	北尾 友亜規	京都やましろ農業協同組合 久御山町支店長	農業
	竹内 昇	京都機械工具株式会社 執行役員	町内事業者
	豊田 美幸	久御山町環境審議会委員 久御山町教育委員	住民
専門員	木原 浩貴	京都府地球温暖化防止活動推進センター 副センター長 たんたんエナジー株式会社 代表取締役	有識者

### 4 令和5年度開催概要

会議／開催日	内容
第1回WG会議 令和6年1月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久御山町環境基本計画及びワーキンググループ会議の趣旨について</li> <li>○久御山町における地域新電力事業の検討について</li> <li>○地域新電力事業に関する先進事例紹介、情報提供について</li> <li>○意見交換</li> </ul>

### 5 地域新電力事業検討部会における検討概要

- ◆地域新電力事業を行う意義として、価格的な部分を追求してシェアを増やすことよりも再エネを増やすための仕組みとなるかを考えるべき。(卒FITやソーラーシェアリングに対する電力買い取りの受け皿としての機能を含む)
- ◆近い将来、再エネの争奪戦がおきることが予想される中で、長期的な視点をもった政策として進めていくことが重要。
- ◆地域新電力事業を実施していくうえで最も重要なことは、安定的な電源を確保すること。また、公共施設への再エネ設置及び需給契約を基本ベースとした方がよい。



# 令和6年度事業

## 1 久御山町環境の日イベント

### 1 概要

久御山町における環境政策の基本理念、方針等を定めた「久御山町環境基本条例」が令和5年4月1日に施行。その中で6月5日を「久御山町環境の日」と定め、本町における各種の環境問題、環境施策に関して、住民・事業者・行政が意識を共有するとともに、環境意識のさらなる醸成を図ることを目的としてイベントを開催。

令和6年度は、水環境をテーマにシンポジウムを開催し、あわせて「ゼロカーボンシティ宣言」及び「デコ活宣言」を行った。

### 2 開催概要

日 時：令和6年6月5日（水）午後2時～午後4時15分

場 所：久御山町役場5階コンベンションホール

参加者数：約100名

内 容：

(1) ゼロカーボンシティ宣言・デコ活宣言

(2) 「水道事業の現状とまちづくりについて」

説明：久御山町長 信貴 康孝

(3) 基調講演「世界の水問題と日本の水道」

講師：京都大学大学院 教授 越後 信哉 氏

(4) トークセッション「安全・安心な水環境について」

【コーディネーター】

龍 谷 大 学 教 授 西垣 泰幸 氏

【パネリスト】

京 都 大 学 大 学 院 教 授 越後 信哉 氏

龍 谷 大 学 教 授 阿部 大輔 氏

町上下水道事業経営審議会 委 員 水野 睦乃 氏

久 御 山 町 長 信貴 康孝

毎年6月5日は「久御山町環境の日」

# 水 久御山町環境の日 環境を考えよう！シンポジウム

日時：令和6年6月5日(水) 午後2時～4時15分  
会場：久御山町役場5階コンベンションホール

**参加無料  
申込不要**

**プログラム**

- ゼロカーボンシティ宣言・デコ活宣言
- 水道事業の現状とまちづくりについて  
説明：久御山町長 信貴 康孝
- 基調講演「世界の水問題と日本の水道」  
講師：京都大学大学院教授 越後 信哉さん
- トークセッション  
「安全・安心な水環境について」  
コーディネーター：龍谷大学教授 西垣 泰幸さん  
パネリスト：京都大学大学院教授 越後 信哉さん  
龍谷大学教授 阿部 大輔さん  
上下水道事業経営審議会委員 水野 睦乃さん  
久御山町長 信貴 康孝

基調講演 コーディネーター パネリストの皆さん







京都大学大学院教授 越後 信哉 氏  
龍谷大学教授 西垣 泰幸 氏  
龍谷大学教授 阿部 大輔 氏  
上下水道事業経営審議会委員 水野 睦乃 氏  
久御山町長 信貴 康孝

**参加記念品**  
ゴーヤ箸やうちわ等を用意しています！

このシンポジウムは、エコ・アクションポイント付与の対象です！詳しくは、裏ページをご覧ください。

問い合わせ 久御山町役場 事業環境部  
産業・環境政策課 075 (631) 9964、0774 (45) 3914  
上下水道課 075 (631) 9987、0774 (45) 3919



はじめのゼロカーボン くみやま

## 久御山町 「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化の進行は深刻で、気候変動の影響により、猛暑や集中豪雨等による自然災害を頻繁に引き起こし、私たちの生活に深刻な影響を及ぼしています。

2015年に採択された、地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定」においては、世界全体の平均気温の上昇を産業革命前と比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することが世界共通の目標として掲げられ、脱炭素化に向けた動きが世界の大きな潮流となっています。

我が国においては、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロとする「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、温暖化対策を経済成長の制約やコストとする時代は終わり、積極的な温暖化対策が経済と環境の好循環を創出するとして「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定しています。

本町においても、まちの将来像「豊かな自然と活力ある産業が共生する環境都市くみやま」に向け、経済・社会・環境の自律的循環の実現と、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現を目指し、住民・事業者・行政が協働し取り組んでいくことを宣言します。

令和6(2024)年6月5日  
久御山町長 信貴 康孝

はじめのゼロカーボン くみやま

## 久御山町 デコ活宣言

本町では、令和5年4月に「久御山町環境基本条例」を施行し、同年10月に「久御山町環境基本計画(久御山町地球温暖化対策実行計画[区域施策編]含む)」を策定するなど、地球温暖化対策に資する取組を積極的に展開しています。

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、国の進める「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動(愛称:デコ活)」に賛同し、「豊かな自然と活力ある産業が共生する環境都市くみやま」の実現に向けて、「デコ活宣言」をいたします。

- 脱炭素につながる製品、サービス、取組展開を通じて国民の彩り豊かな暮らし(デコ活)を後押しします!
- 日々の生活・仕事の中で、デコ活(脱炭素につながる豊かな暮らし)を実践します!

令和6(2024)年6月5日  
久御山町長 信貴 康孝

## 2 久御山町エコアクション推進事業運営業務（新規事業）

### 1 概要

久御山町環境基本計画に定める 2030 年温室効果ガス削減目標及び 2050 年カーボンニュートラルの達成のため、住民・事業者等の省エネ行動の促進及び環境意識の醸成を目的として、環境省が推進する「エコ・アクション・ポイント制度」を開始。

### 2 制度内容

エコ・アクション・ポイントとは、環境省が推進する「環境に良い行動をして貯める全国共通の環境ポイント制度」となっており、様々なエコ活動に対してポイントが付与され、専用アプリ上で様々な商品やギフトカード等と交換できる制度。

### 3 計画上の位置づけ

計画第 6 章地球環境を考えたまちの取組（地球温暖化対策実行計画「区域施策編」）

#### ■各種施策の展開

##### 具体的な取組① 省エネルギーの推進

- 日常生活における省エネ行動や省エネルギー効果の高い高効率な省エネ機器・設備、新しく建物を建てる際やリフォームの際には、ZEB・ZEH 化など建物の省エネ性能の向上を図るなど、省エネルギーの推進を図ります。

省エネ行動の推進	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エアコンの上手な使い方など、日常生活における省エネルギー行動の普及に努めます。</li> <li>●「ゼロカーボンアクション 30」「COOL CHOICE」など、国が推奨している省エネルギー行動の普及・啓発に取り組みます。</li> <li>●住民向けの意識啓発及び補助事業等の導入や電力会社等との連携を図るとともに、「新しいライフスタイル」を提案します。</li> </ul>

高効率な省エネ機器・設備の導入	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たに商品を購入する際には、省エネルギー効果の高い高効率家電の購入につながるよう、普及・啓発に努めます。</li> <li>●事業所や工場においても高効率な機器の導入等を推進します。</li> <li>●高効率家電の普及につながるよう、購入費の助成を進めます。</li> </ul>

計画目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「新たに家電を買い替える場合は、省エネ性能の高い家電を選ぶなど我慢せずに取り組める省エネ活動を実践している」の割合</li> </ul>								
	2022 【現状値】	2023	2024	2025	2026 【中間値】	2027	2028	2029	2030 【目標値】
	-	➡	➡	➡	40.0%	➡	➡	➡	60.0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「電球型 LED ランプを導入している」の割合</li> </ul>								
2022 【現状値】	2023	2024	2025	2026 【中間値】	2027	2028	2029	2030 【目標値】	
62.3%	➡	➡	➡	73.6%	➡	➡	➡	81.2%	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■「家庭用燃料電池（エネファーム）を導入している」の割合</li> </ul>									
2022 【現状値】	2023	2024	2025	2026 【中間値】	2027	2028	2029	2030 【目標値】	
7.0%	➡	➡	➡	15.1%	➡	➡	➡	20.5%	

#### 4 令和6年度久御山町ポイントメニュー一覧

NO.	エコアクション名	アクション内容	ポイント数	ポイント付与回数
1	EAP(エコ・アクション・ポイント)アプリの登録	エコ・アクション・ポイントの会員登録を行なう	500	初回登録につき1人1回まで
2	各種環境学習会・イベント等への参加	町指定の環境イベントに参加する	50	対象イベントごとに1人1回まで
3	久御山町環境の日イベントへの参加	6月5日の「久御山町環境の日イベント」に参加する	50	対象イベントにつき1人1回まで
4	省エネ製品の購入	指定の省エネ家電製品を購入し、設置する	300	購入製品(エアコン・冷蔵庫等)各種につき1人1回まで
5	LED照明器具の購入	LED照明器具(電球含む)を購入し、設置する	50	1設置につき1人1回まで
6	フードドライブ事業での食品提供	町のフードドライブ事業の取組に協力する(食品提供)	50	おひとり様1日1回まで
7	太陽光発電・蓄電池の設置 (どちらか一方でも可)	太陽光発電・蓄電池を購入し、設置する	1,000	1設置につき1人1回まで
8	EV車の購入	EV車を購入する	1,000	1台購入につき1人1回まで
9	雨水貯留施設の設置	雨水貯留施設(雨水タンク)を購入し、設置する	500	1設置につき1人1回まで
10	グリーンカーテンの設置	グリーンカーテンを設置する	100	1設置につき1人1回まで
11	地産地消の取組	「まちの駅クロスピアくみやま」または久御山町農産物直売所「旬菜の里」で地元特産品を購入する	10	おひとり様1日1回まで

#### 5 R6年度の取組経過

R6. 5. 15 : ポイント制度事前登録開始

R6. 6. 5 : 「久御山町環境の日イベントの参加」で先行ポイント付与

R6. 7. 1 : ポイント制度本格運用開始 (チラシ全戸配布)

※初期登録者には500ポイント付与のキャンペーンを実施

R6. 10. 20 : 城南衛生管理組合クリーンパーク折居で開催された「環境ふれあいフェスタ」にて、宇治市・城陽市・城南衛生管理組合と連携してEAPの啓発事業を実施

R6. 11. 3 : 70周年記念イベント「わくわくフェスタ」にてEAPを啓発

#### 6 令和6年度登録実績

##### 久御山町様会員数、利用者数推移

		会員数		利用状況	ポイント利用数
年	月	新規入会数	合計人数	取得回数	ポイント数
2024年	5月末以前	20	20		
2024年	6月	37	57		
2024年	7月	22	79	106	19,710
2024年	8月	0	79	81	1,680
2024年	9月	4	83	85	4,040
2024年	10月	4	87	96	2,210
2024年	11月	0	87	71	870
2024年	12月	1	88	72	1,330
2025年	1月	3	91	56	1,090
2025年	2月	7	98	78	5,020

## 7 令和6年度ポイント付与実績

### EAP 令和6年度ポイント付与実績 (令和6年6月1日～令和7年2月28日)

EAP対象アクション名	エコアクションナンバーポイント数	登録枚数	ポイント数合計	集計開始日	集計終了日
久御山町環境の日イベントへの参加	50	11	550	2024/6/1	2025/2/28
【久御山町民限定】EAP(エコ・アクション・ポイント)アプリの登録	500	53	26,500	2024/6/1	2025/2/28
【久御山町民限定】各種環境学習会・イベント等への参加	50	19	950	2024/6/1	2025/2/28
【久御山町民限定】LED照明器具の購入	50	3	150	2024/6/1	2025/2/28
【久御山町民限定】EV車の購入	1000	1	1,000	2024/6/1	2025/2/28
【久御山町民限定】グリーンカーテンの設置	100	6	600	2024/6/1	2025/2/28
【久御山町民限定】地産地消の取組	10	535	5,350	2024/6/1	2025/2/28
【久御山町民限定】フードドライブ事業での食品提供	50	28	1,400	2024/6/1	2025/2/28

36,500

## 8 全戸配布啓発チラシ

**7/1 MON. 開始!** 久御山町で **エコ・アクション・ポイント** がスタートします!

**エコ・アクション・ポイントとは?**  
環境省が推進する全国共通ポイントサービスです。  
エコな行動(=エコ・アクション)によりポイントがもらえ、専用アプリ上で貯めたポイントは様々な商品と交換出来ます。

**貯まったポイントで交換できる商品例**

- 各種電子マネー: QUO Pay, amazon gift card
- 各種金券: びんくろふくお買券券
- エコグッズ: エコバッグ、天然由来商品、再生PET商品 etc.
- 各種寄付: FSC, WWF

交換商品一覧は、マイページの「ポイントを使う」よりご確認ください

久御山町 事業環境部 産業・環境政策課 環境企画係  
〒613-8585 京都府久世郡久御山町高田ミズ38番地 075-631-9964 【受付時間】8:30~17:15(土日祝除く)  
0774-45-3914

アプリに関するお問い合わせ: エコ・アクション・ポイント事務局: 0120-889-614 【受付時間】10:00~17:00(土日祝除く)

**久御山町民・町内事業者限定の Ecoアクションメニュー**

提示・配布されるQRコードを読み取って、ポイントゲット!

読み取って **500** ポイントゲット!

- 500 ポイント: LED照明器具の購入
- 500 ポイント: 雨水貯留施設の設置
- 100 ポイント: グリーンカーテンの設置
- 300 ポイント: 省エネ製品の購入
- 1000 ポイント: 太陽光発電・蓄電池の設置(どちらか一方でも可)
- 1000 ポイント: EV車の購入
- 50 ポイント: 各種環境学習会・イベント等への参加
- 10 ポイント: 地産地消の取組
- 50 ポイント: フードドライブ事業での食品提供

**会員登録手順**

- 1. 新規会員登録**  
まずは専用アプリをインストール  
各アプリストアで「エコアクションポイント」をダウンロード  
各アプリストアで「エコアクションポイント」をダウンロード  
スマホをお持ちでない方はこちら▼▼▼のプラザまで  
<https://www.eco-action.jp>
- 2. 会員情報の入力、規約の確認**  
会員情報を入力します。ご利用規約の同意の上「規約に同意する」  
「個人情報取り扱いの同意する」の2箇所にてチェックを入れます。  
「同意する」を押し、内容確認画面に進み「EAPで登録する」を押します。
- 3. 会員登録完了**  
マイページが表示され、登録完了です。エコ活動を楽しくみましょう!

**気になるエコアクションが見つかったら早速はじめてみよう!**

アプリ内「エコアクションを探す」を開き **キーワード**で検索に **久御山町** と入力し、久御山町民・町内事業者向けアクションからはじめてみましょう!

### 3 脱炭素促進補助金の創設（新規事業）

#### 1 概要

久御山町環境基本計画（久御山町地球温暖化対策実行計画「区域施策編」含む）に定める温室効果ガス削減目標を達成し、2050年カーボンニュートラルの実現及び脱炭素社会の構築に向けた取組として、住民・事業者向け脱炭素促進補助金を創設。

#### 2 補助金の概要

##### (1) 久御山町ソーラーカーポート導入促進事業費補助金（事業者向け補助）

###### 概要

町内事業所の自社の駐車場等に太陽光発電設備等（ソーラーカーポート）を導入することにより、再生可能エネルギーの利用普及および温室効果ガスの削減を図ることを目的とする。

なお、本補助金は京都府太陽光発電設備等導入促進事業補助金（以下「京都府補助金」という。）の上乗せ補助として実施。

###### 補助対象者

町内で事業を営む個人または法人で、京都府補助金の交付決定を受けた者。

###### 補助対象設備等

京都府補助金交付要綱第3条別表に定めるソーラーカーポート及び蓄電池の設置。

※設備費、工事費等を補助対象経費とする。

###### 補助金額

京都府補助金の交付決定を受けた補助対象経費の1/10

（上限金額ソーラーカーポート 20万円、蓄電池 10万円）

###### 当初開始日

令和6年11月15日（金）

###### R6 補助金交付実績

申請件数：0件 交付金額合計：0円

###### (計画上の位置づけ)

計画第6章地球環境を考えたまちの取組（地球温暖化対策実行計画「区域施策編」）

太陽光発電等の導入促進	
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 太陽光発電等の設置に関する情報を住民や事業所へ周知できる機会をつくります。</li><li>● 初期費用がかからないPPA事業や府の0円ソーラー、太陽光発電設備共同購入事業等、各種事業や制度の推進及び周知を図ります。</li><li>● 建築物だけでなく、駐車場を利用したソーラーカーポートや歩行の雨避けを兼ねたソーラーアーケード等、土地や空間を効果的に利用した太陽光発電の設置を推進します。</li><li>● 住宅屋根に太陽光発電設備を設置し、蓄電池（卒FIT対策を含む）や電気自動車と連携してエネルギーを有効活用します。</li><li>● 太陽光発電や蓄電池に関する情報提供や補助の実施等により、事業所や住民による建築物への太陽光発電や蓄電池等の導入、定期的なメンテナンス、将来的な廃棄等への備えを促進します。</li><li>● 「新市街地（みなくるタウン）」の産業立地促進ゾーンに立地する事業所や住街区促進ゾーンに建設される住宅に太陽光発電等を設置します。（再掲）</li></ul>

## (2) 久御山町高効率機器導入促進事業費補助金（事業者向け補助）

### 概要

町内事業所の既存設備を高効率機器に更新することで、事業活動に伴う温室効果ガスの削減を図ることを目的とする。

なお、本補助金は京都府サプライチェーン省エネ推進事業補助金(以下「京都府補助金」という。)の上乗せ補助として実施。

### 補助対象者

町内に事業所を有する個人または法人で、京都府補助金の交付決定を受けた者。

### 補助対象設備等

京都府補助金交付要領第3条に定める高効率の空調・ボイラー・LED照明機器等の更新。

※設備費、設計費、工事費等を補助対象経費とする。

### 補助金額

京都府補助金の交付決定を受けた補助対象経費の1/10(上限金額20万円)。

### 当初開始日

令和6年9月13日(金)

### R6 補助金交付実績

申請件数：1件 交付金額合計：20万円

## (計画上の位置づけ)

計画第6章地球環境を考えたまちの取組（地球温暖化対策実行計画「区域施策編」）

高効率な省エネ機器・設備の導入	
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>●新たに商品を購入する際には、省エネルギー効果の高い高効率家電の購入につながるよう、普及・啓発に努めます。</li><li>●事業所や工場においても高効率な機器の導入等を推進します。</li><li>●高効率家電の普及につながるよう、購入費の助成を進めます。</li></ul>

### (3) 久御山町住宅用断熱改修等促進事業費補助金（住民向け補助）

#### 概要

町内の既存住宅における断熱改修を積極的に支援することにより、既存住宅の省エネルギー性能の向上を図り、住民生活における温室効果ガスの削減を推進することを目的とする。

#### 補助対象者

本町に住所を有し、町内の一戸建て住宅に居住している者

#### 補助対象設備等

##### ・高断熱窓

外気に接する既存の窓に対して、高断熱窓である内窓の取付け、外窓の交換・ガラスの交換、外気に接する壁への新たな高断熱窓の取付け。

※高断熱窓は熱貫流率が  $4.65\text{W}/\text{m}^2 \cdot \text{K}$  以下のもの。

##### ・高断熱ドア

外気に接する既存のドアに対して、高断熱ドアへの交換、外気に接する壁への新たな高断熱ドアの取付け。

※高断熱ドアは熱貫流率が  $4.65\text{W}/\text{m}^2 \cdot \text{K}$  以下のもの。

##### ・断熱材

住宅の居室において、外気等に接する全ての壁、屋根、床等への断熱材の設置。

※断熱材は国が定める「住宅の省エネルギー基準」に適合するもの。

##### ・屋根面の遮熱塗装

既存の屋根面の全てに遮熱塗装を行うもの。

※遮熱塗装は日射反射率が 40% 以上のもの

※上記の設備購入費、設置・交換費用を補助対象経費とする。

#### 補助金額

各対象設備ごとに、補助対象経費の 1/10(上限金額 5 万円)。

※複数の対象設備が該当する場合の上限金額は合計 20 万円まで。

#### 当初開始日

令和 6 年 9 月 13 日（金）

#### R 6 補助金交付実績

申請件数：8 件 交付金額合計：36 万 3 千円

(計画上の位置づけ)

計画第6章地球環境を考えたまちの取組 (地球温暖化対策実行計画「区域施策編」)

**ZEB・ZEH化など建物の省エネ性能の向上**

**内容**

- 一般住宅や公営住宅、事業所など、新しく建物を建てる際やリフォームの際、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）化を進めます。また、省エネ改修住宅等、相談窓口を設置します。
- 断熱性・気密性が高い建物は、室温を一定に保ちやすいので夏は涼しく、冬は暖かい、快適な生活が送れます。さらに、効率的に建物全体を暖められるので、特に冬の急激な温度変化に伴うヒートショックによる心筋梗塞等の事故を防ぐ効果もあることから、健康の側面からもZEH・ZEB化のメリットを周知します。
- HEMSやBEMSを普及し、建物のエネルギーを効率的に使うよう、情報の提供・周知に努めます。また、ゼロカーボン住宅の評価等を行います。
- 「新市街地（みなくるタウン）」の産業立地促進ゾーンに立地する事業所や住街区促進ゾーンに建設される住宅に太陽光発電等を設置します。
- 森林資源の循環利用や脱炭素社会の実現等のため、公共建築物はもとより福祉施設や商業施設などの民間建築物でも、京都府産木材を利用した木造化・木質化を推進します。

(参考) 令和6年度全戸配布チラシ

**脱炭素**

**久御山町脱炭素・再エネ補助金制度等のご案内**

久御山町では、地球温暖化対策を推進するため、脱炭素や再エネ導入などの各種補助金制度や省エネポイント制度を実施しています。我慢しないで快適にエコな暮らしを実現させるため、ぜひご活用ください。

**住民** **家庭向け自立型再生可能エネルギー導入補助金 (太陽光発電 + 蓄電池を住宅に同時設置)**

住宅に太陽光発電設備と蓄電池を同時設置した人に補助します。  
 ※発電量の30%以上を自家消費。FIT (固定価格買取制度) による売電不可。  
 ※高効率給湯機器及びヒートポンプシステムは同時設置の場合、補助対象

補助金額	※FIT型 (売電不可)	
	設備	補助金額
太陽光 + 蓄電池設備 (同時設置)	太陽光	3万円/kwh (上限 12万円)
	蓄電池	5万円/kwh (上限 30万円)
太陽光 + 蓄電池設備 + 高効率給湯機器 (同時設置)	太陽光	3万円/kwh (上限 12万円)
	蓄電池	5万円/kwh (上限 30万円)
太陽光 + 蓄電池設備 + コージェネ (同時設置)	太陽光	設置に要した費用×1/2 (上限 30万円) + 設置に要した費用の5%
	蓄電池	3万円/kwh (上限 12万円)
太陽光 + 蓄電池設備 + コージェネ (同時設置)	太陽光	5万円/kwh (上限 30万円)
	コージェネ	設置に要した費用×1/2 (上限 40万円) + 設置に要した費用の5%

**申請期間** 令和7年1月31日 (金) まで  
 ※事業期間が1年以上の場合には別途、事業開始承認申請が必要となります。

補助金の詳細はこちら

裏面もご覧ください。

久御山町 事業環境部 産業・環境政策課 環境企画係 TEL: 075 - 631 - 9964 / 0774-45-3914  
 〒613 - 8585 京都府久世郡久御山町島田ミス/38番地 E-mail: sangyo@town.kumiyama.lg.jp

**住民** **住宅用断熱改修等補助金**

住宅の断熱改修 (窓・ドア・断熱材・屋根) を実施した人に補助します。

**補助金額** 上限5万円 (経費の1/10)  
**申請期間** 改修工完了後6ヶ月以内

**住民・事業者** **雨水タンク設置補助金**

住宅や事業所へ雨水タンクを設置した個人・事業者に補助します。

**補助金額** 上限4万5千円 (3/4補助)  
**申請期間** 令和7年3月31日 (月) まで

**事業者** **高効率機器導入補助金**

京都府補助金 (※) を受けて、町内事業所の高効率機器 (空調機器・ボイラー・LED照明機器等) を更新・導入した事業者に補助します。

**補助金額** 上限20万円 (経費の1/10)  
**申請期間** 京都府の事業終了後6ヶ月以内

**事業者** **ソーラーカーポート導入補助金**

京都府補助金 (※) を受けて、町内事業所の駐車場等に太陽光発電 (ソーラーカーポート) および蓄電池を設置した事業者に補助します。

**補助金額** 上限20万円 (ソーラーカーポート) / 上限10万円 (蓄電池) (ともに経費の1/10)  
**申請期間** 京都府の事業終了後6ヶ月以内

**住民・事業者** **エコ・アクション・ポイント制度**

**エコ・アクション・ポイントのアプリを登録してお得に省エネ活動!!**

STEP1 アプリをダウンロード  
 STEP2 新規会員登録  
 STEP3 エコな活動でポイントGET!

ポイントで様々な商品やギフトカードと交換!!

ポイント制度の詳細はこちら

## 4 久御山町環境政策プロモーション業務（2年目）

### 1 概要（再掲）

久御山町環境基本計画に定めた施策を推進していくため、本町における環境ブランド力の向上と町内外への効果的なPR、施策推進に対する新たな付加価値を創造し、住民のシビックプライド（まちに対する住民の誇り）の醸成やまちの魅力向上、施策推進のための協働体制の基盤構築につながるプロモーション事業を実施。

### 2 計画上の位置づけ（再掲）

計画第5章目指すべき将来像の実現に向けた取組「重点目標の設定」

#### ■ 久御山版環境プロモーションによるシビックプライドの醸成

##### プロモーションの推進 <関連する基本目標：基本目標6>

本町を環境ブランド力の高いまちとして町内外へ効果的に周知し、住民のシビックプライドの醸成やまちの魅力の向上を図るとともに、関係人口の増加につなげるなど、プロモーション業務に取り組みます。

##### 「ALL 久御山」による活動の促進 <関連する基本目標：全基本目標>

環境活動やカーボンニュートラルに関わる住民、事業者、行政による「ALL 久御山」の絆で活動を促進します。特に、子どもの時から身近に環境に関する取組にふれる機会を創出し、協働による活動の価値を高めながら、子どもたちにとっても誇りを感じる魅力的かつ先進的な環境のまちづくりに取り組みます。

##### 環境に関する意識の醸成 <関連する基本目標：全基本目標>

「久御山町環境基本条例」に基づき、住民、事業者をはじめとした関係者に対して、条例を広く周知・広報するとともに、6月5日の「久御山町環境の日」にあわせてイベントを開催するなど、環境に関する意識醸成に取り組みます。また、環境意識が事業者や人材、リーダーの育成を図ります。

##### 「地域共生型」のまちづくりの推進 <関連する基本目標：全基本目標>

環境政策の推進とともに、「地域共生型」のまちづくりを推進するため、中央公民館の跡地に中核となる施設「全世代・全員活躍まちづくりセンター」を整備し、社会教育・生涯学習の機能に加え、子育て支援、子どもからシニアの活動支援、多世代・多文化交流などと連動した久御山モデルの「地域共生型」のまちづくりに取り組みます。

### 3 実施期間

令和6年6月17日～令和7年3月21日

## 4 事業内容

### (1) 環境施策の推進主体となる人材と協働で進めるゼロカーボンに向けたブランド基盤づくり

#### ①久御山町における環境ブランド（案）の検討

「久御山町環境基本計画」の趣旨に則り、「環境のまち」としてブランド化していくため、本町の工業と農業の二大産業の特性を活かした環境施策を展開するための検討を行う。具体的には、町内事業者・農業者との協力体制の構築及び環境活動と経済活動の双方の発展を促すため、町内事業者・農業者へのヒアリング調査を実施。

#### (実施事業者数)

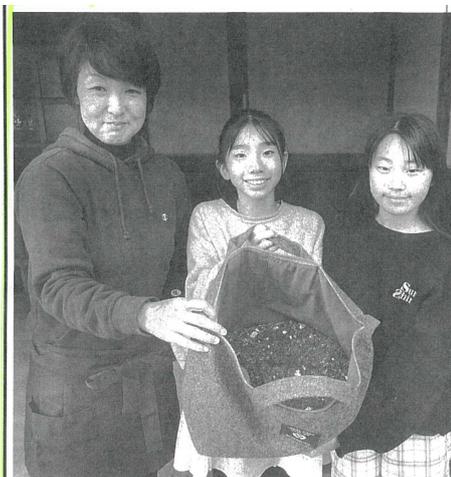
- ・農業者、農業関連事業者（京都府山城北農業改良普及センター）  
合計 3 団体（令和 6 年 10 月にかけて実施）
- ・町内事業者 合計 2 団体（令和 6 年 10 月にかけて実施）

#### ②協働で進める環境ブランドの構築

町内の飲食店、事業所から出される食品廃棄物を農業者やNPO法人が再利用する食品リサイクルを循環させるための新たな取組を行う。

町内でこども食堂やカフェを営む「のこのこ村」（運営：NPO法人ひと・まち・ジャンクション）と連携し、食品廃棄物の循環体制を構築するため、コンポストバッグを活用した事業を実施。

（令和 6 年 12 月 20 日バッグを 5 個提供）



(7) 2024年(令和7年)1月5日(日曜日)

## 生ごみから堆肥を作ろう

久御山町 山町 第三の居場所にバッグ

久御山町は先月20日、NPO法人ひと・まち・ジャンクション(平野典子理事長)が運営する子ども第三の居場所「のこのこ村」に、市田和氣に、生ごみを発酵させ、堆肥を作るコンポストバッグを提供した。

町は2023年に環境基本計画を策定。住民、事業者と一体となつて環境問題への取り組みを進めようと、昨年度から環境政策プロモーション業務を展開しており、今回の提供もその一環。同村で展開される宿題カフェやばんごはん会などで発生する生ごみを減らし、かつ、有効に活用するため、コンポストバッグによる堆肥作りを実施実験的に取り組んでもらうことにした。

同村に提供されたバッグは5個。気密性が高く、発酵過程で発生する悪臭も漏れない仕組みになっている。町は「小さなところからの第一歩」と、ごみ減量の意識が少しずつでも広がることを期待している。

堆肥は3カ月ほどで完成。同村で野菜や花の育成に活用したり、町内農家への提供も視野に入れている。

またこの日は、町内のファミリーマートで回収されたお菓子も同村に提供された。これは、町とファミマが昨年11月下旬、「フードドライブ事業に係る食品の提供に関する合意書」を締結しており、それに基づくもの。

城陽ステイミングスクール  
無料体験  
いつでもOK!  
TEL074-555511

### ③地域新電力事業の検討に関する一部調査の実施

エネルギーの域内経済循環を高めるため、地域内の電力を地域の事業所等が主体となって小売電気事業を営む「地域新電力」の取組を進めるにあたり、想定収支等を算定し、実現可能性を検討する。

※詳細は後述の「5 環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議 3-2 地域新電力事業における検証結果」にて記載

### ④環境施策を主体的に取り組む人材の掘り起こし

令和5年度に実施した人材発掘の取組をふまえ、引き続き、ワークショップ・ヒアリング等を通じて環境活動に主体的に取り組む人材の育成、発掘を行う。

#### (実施概要)

#### ①「マハロマルシェ」ヒアリング

(令和7年2月14日(金))

町内でイベント等の開催を活発に実施されている「マハロマルシェ」にヒアリングを実施。環境の取組として、フリーマーケットによる衣服のリサイクルや環境イベント等でのPRなどの協力は可能。

⇒令和7年4月20日に同団体が主催する「久御山コミュニティ祭り」において環境啓発ブースを出店しPRを行う。

#### ②「ひと・まち・ジャンクション、KUMIDAN」ヒアリング

(令和7年2月18日(火))

町内でこども食堂等を運営されている「NPO法人ひと・まち・ジャンクション」及び久御山中央公園の利活用などをテーマに活動されている「KUMIDAN」にヒアリングを実施。

環境の取組としては、「みんな自分達が楽しいからこそ続けられる」ということが重要。また、「太陽光発電やEV車の普及がゼロカーボンに直結しやすいのだろうが、費用的な面が問題となるため、コンポストバッグのように小さなことから実践していくことが久御山町らしい」との意見があった。

#### ③「京都文教大学 KminK (クミンク)」ヒアリング

(令和7年2月21日(金))

京都文教大学の学生団体である「KminK (クミンク)」にヒアリングを実施。

KminKは、久御山町の自治会活性化の取組のほか、総合計画やかわまちづくりなど各種の事業に参加しており、環境の取組に関しては、3月中～下旬にワークショップを実施予定とし、特に若年層に訴求する取組をともに検討する方針としている。

## (2) 環境に関する意識醸成の推進

### ①町内小学校等における環境学習の実施

#### (実施概要)

##### ●御牧小学校カードゲーム

日時：令和6年12月20日（金）

対象：御牧小学校4年生

内容：脱炭素と社会経済の関係性を楽しく学ぶことができるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を実施。



##### ●佐山小学校環境学習

日時：令和6年10月30日（水） 10時40分～11時25分

対象：佐山小学校4年1組・2組

内容：令和5年度と同様に、総合学習の時間の中で環境問題に関する学習を行っていたことから、児童が課題設定を行なった「地球温暖化」、「気候変動（異常気象）」、「森林破壊」、「大気汚染」、「海洋汚染」をテーマに学習を行なった。

##### ●佐山小学校カードゲーム

日時：令和7年3月13日（木） 13時35分～15時10分

対象：佐山小学校5年1組・2組

内容：脱炭素と社会経済の関係性を楽しく学ぶことができるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を実施。

##### ●東角小学校カードゲーム

日時：令和7年2月25日（火） 8時40分～10時15分

対象：東角小学校5年1組・2組

内容：脱炭素と社会経済の関係性を楽しく学ぶことができるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を実施。



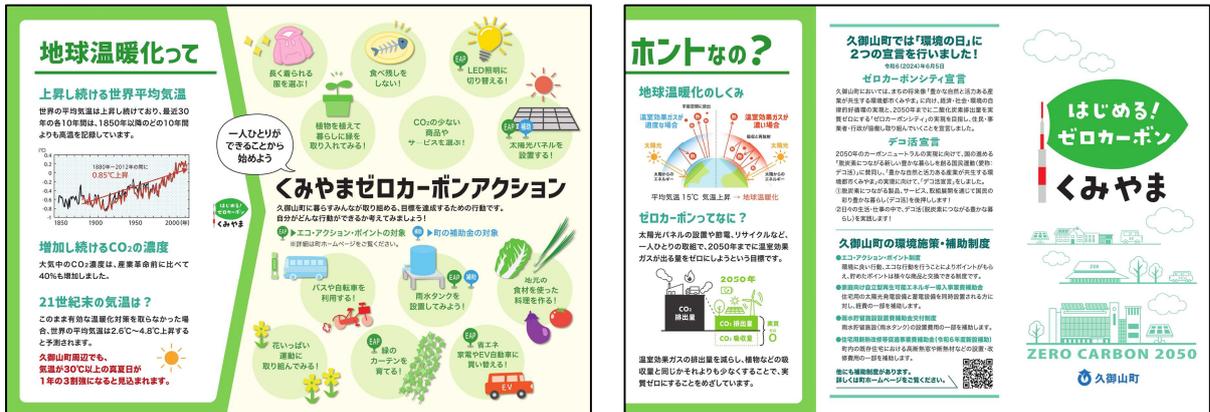


### (3) 環境政策周知業務

#### ① 「地球温暖化防止啓発リーフレット」の作成

例年、京都府と合同で実施する「地球温暖化啓発イベント」(イオンモール久御山で実施)や町主催の各種イベント、学習会等で配布するリーフレットを作成し、地球温暖化防止啓発及び町内外への環境施策のPRを行う。

・作成部数 1,000部



#### ② 「ゼロカーボンくみやまのステッカー」の作成

本町を「環境都市くみやま」として、町内外へ広くPRするため、「ゼロカーボンくみやま」のロゴマークが入ったステッカー及びマグネットを作成。

ステッカーについては、食品ロス削減京都府連携事業等(後述)に協力いただいた店舗等に配布し、掲出を依頼。



ステッカー100部



マグネット500部

#### **(4) 京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）との連携**

京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、京都府立大学が行う地域貢献型特別研究（ACTR）について、環境に関する実態把握や今後の施策を検討するための各種調査等に取り組む。

※詳細は後述の「**7 京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）事業（連携事業）**」にて記載。

## 5 環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議

### (地域新電力事業検討部会〔2年目〕・次世代自動車普及促進部会〔新規事業〕)

#### 1 概要

令和6年度環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議は、令和5年度に引き続き、地域新電力事業を検討する「地域新電力事業検討部会」を2回開催。あわせて、EV車等の次世代自動車の普及・促進を検討する「次世代自動車普及促進部会」を1回開催した。

#### 2 WG会議委員名簿

久御山町環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議 構成メンバー			
◇構成メンバー		※50音順・敬称略	
役職	氏名	所属団体等	備考
コアメンバー	泉 真吾	京都銀行 公務・地域連携部 観光・地域活性化室長	金融機関
	片岡 幸富	久御山町商工会 課長兼経営支援員	商工業
	北尾 友亜規	京都やましろ農業協同組合 久御山町支店長	農業
	竹内 昇	京都機械工具株式会社 執行役員	町内事業者
	豊田 美幸	久御山町環境審議会委員 久御山町教育委員	住民
専門員	木原 浩貴	京都府地球温暖化防止活動推進センター 副センター長 たんたんエナジー株式会社 代表取締役	有識者

地域新電力事業検討部会

久御山町環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議 次世代自動車普及促進部会 構成メンバー			
◇構成メンバー		※50音順・敬称略	
役職	氏名	所属団体等	備考
コアメンバー	泉 真吾	京都銀行 公務・地域連携部 観光・地域活性化室長	金融機関
	片岡 幸富	久御山町商工会 課長兼経営支援員	商工業
	北尾 友亜規	京都やましろ農業協同組合 久御山町支店長	金融機関
	竹内 昇	京都機械工具株式会社 執行役員	町内事業者
	豊田 美幸	久御山町環境審議会委員 久御山町教育委員	住民
専門員	鳥井 英雄	学校法人日産学園 日産京都自動車大学校 教頭	教育機関 町内事業者

次世代自動車普及促進部会

#### 3 地域新電力事業検討部会の開催概要

開催日	内容
第1回 令和6年5月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回のワーキンググループ会議の振り返りについて</li> <li>○久御山町における地域新電力事業に関する考え方について</li> <li>○地域新電力事業の検討に関する今後の進め方について</li> <li>○意見交換</li> </ul>
第2回 令和7年2月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久御山町における地域新電力事業の実現可能性に係る一部調査結果について</li> <li>○地域新電力事業に関する今後の検討について</li> <li>○意見交換</li> </ul>

### 3-1 地域新電力事業検討部会における検討概要

- ◆事業の安定経営を実現させるためには電源確保が重要。卸電力市場のみに頼ると変動が激しいため、安定経営は難しい。
- ◆事業の経営が成り立つラインとしては、一般的に販売先契約電力が4～6 MW程度必要と考えられる。
- ◆地域新電力事業の実現可能性についての一部調査が必要。  
⇒令和6年度の環境政策プロモーション業務の中で一部調査を実施。

### 3-2 地域新電力事業における検証結果

#### 事業採算性検証の前提

##### (1) 電源確保

久御山町内でメガソーラーなどを展開する遊休地等がないため、自立的に多くの再エネの調達が難しいと考えられるため、域内の卒FIT電力の活用を前提とする。

#### 2.事業採算性の検証の前提② ～再エネ電力の調達～

久御山町内の2030年度の卒FITポテンシャルは、経産省FIT制度のHPから  
<https://www.fit-portal.go.jp/PublicInfoSummary>  
2025年～2030年までに住宅405件、1,592kwの卒FITが生まれる…①  
一方で、2024年現在の域内卒FITは200件、786kwと推定する…②  
2030年度での域内卒FITは①②より605件、2,378kwと推定できる。  
このポテンシャル(発電量)は**3,103,861kwh/年**となる…③

域内の唯一の再エネである住宅卒FITを最大限新電力会社で活用するという前提で事業計画を作成する。(理由:(1)安価 (2)再エネ (3)経済循環)  
卒FIT単価(9.5円/kwh)は市場価格(JEPX)12.0円/kwhより20%程度安価である

◆卒FIT獲得目標

	卒FIT	
	件数	電力量 (kwh)
1年目	120	327,600
2年目	240	932,400
3年目	300	1,449,000
4年目	300	1,512,000
5年目	300	1,512,000

域内卒FITを5年目で③の約50%調達できると仮定して、計画に反映させる

##### (2) 顧客獲得パターン

検証上の顧客獲得パターンは以下の3パターン

パターン①：「公共施設」のみ

パターン②：「公共施設」 + 「民間低圧」(住宅など)

パターン③：パターン② + 「民間高圧」(工場など)

### 3.事業採算性の検証② ～3パターンでの検証～

顧客獲得の考え方:域内の新電力会社設立に関し、以下の3パターンにおいて試算する。

	顧客			5年目顧客獲得目標					
				契約件数			契約容量(kw)		
	公共施設	民間高圧	民間低圧	公共施設	民間高圧	民間低圧	公共施設	民間高圧	民間低圧
パターン①	○			18	0	0	1,964	0	0
パターン②	○		○	18	18	300	1,964	1,350	3,000
パターン③	○	○	○	18	36	600	1,964	2,700	6,000

### (3) 採算性検証結果

検証の結果、3パターン全てにおいて各5年間で黒字化になることはないことが判明。要因としては、

- (1) 規模が小さい＝売上げが少ない（検証結果から損益分岐点は約3.4億円）
- (2) 安価な自前電源が少ない

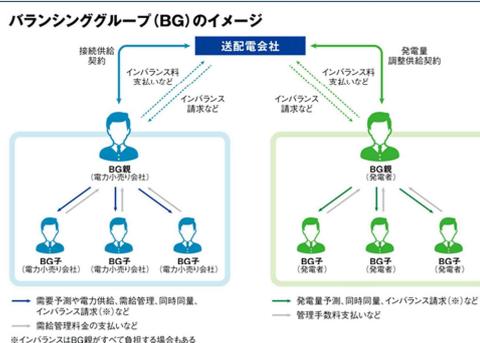
## 3.事業採算性の検証③ ～3パターン 総括表比較～

単位	契約電力			売上金額 千円	販売管理費 千円	売上総利益 千円	当期純利益 千円	累計借入金 千円	期末資金 千円	容量抽出 千円	
	高圧 kW	低圧 kW	合計								
パターン①	1年目	1,283	681	1,964	62,895	28,790	9,157	-19,981	19,000	426	9,898
	2年目	1,283	681	1,964	62,895	26,790	10,669	-16,813	34,000	67	9,898
	3年目	1,283	681	1,964	62,895	26,790	11,961	-15,837	49,000	743	9,898
	4年目	1,283	681	1,964	62,895	26,790	12,118	-15,965	63,000	375	9,898
	5年目	1,283	681	1,964	62,895	26,790	12,118	-16,250	77,000	7	9,898
パターン②	1年目	1,733	681	2,414	70,575	28,979	10,477	-18,880	20,000	425	11,118
	2年目	2,183	681	2,864	85,821	27,357	14,607	-13,517	35,000	732	13,540
	3年目	2,633	681	3,314	101,067	27,735	18,518	-10,293	46,000	180	15,962
	4年目	2,633	681	3,314	108,633	27,924	19,975	-9,233	54,000	106	17,164
	5年目	2,633	681	3,314	108,633	27,924	19,975	-9,387	62,000	679	17,164
パターン③	1年目	2,183	1,881	4,064	97,980	35,745	12,806	-23,123	31,000	584	15,389
	2年目	3,083	3,081	6,164	162,636	35,509	21,023	-15,682	55,000	85	25,508
	3年目	3,983	4,281	8,264	227,292	37,273	29,020	-10,006	75,000	643	35,626
	4年目	3,983	5,481	9,464	275,326	38,628	33,027	-7,701	87,000	953	43,104
	5年目	3,983	6,681	10,664	309,490	39,636	34,495	-7,445	96,000	982	48,379

### 3-3 今後の検討の方向性

- ◆事業規模や電力調達の関係上、町単独での事業運営は難しいと考えられる。そのため、周辺市町村やごみ発電を有する城南衛生管理組合との連携の可能性を模索する。
- ◆既存の地域新電力事業者のBG（バランシンググループ）となることなどを検討。

※BG(バランシンググループ)とは、別名「BG」や「代表契約者制度」と呼ばれ、複数の小売電気事業者が1つのグループを形成して、電力会社と1つの託送供給契約を結ぶ制度。



#### 4 次世代自動車普及促進部会の開催概要

開催日	内容
第1回 令和6年11月6日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久御山町環境基本計画施策推進ワーキンググループ会議（次世代自動車普及促進部会）の趣旨について</li> <li>○次世代自動車の普及に関する近年の情勢について</li> <li>○久御山町における次世代自動車の普及促進に関する検討について</li> <li>○意見交換</li> </ul>

##### 4-1 計画上の位置づけ

計画第6章地球環境を考えたまちの取組（地球温暖化対策実行計画「区域施策編」）

##### 次世代自動車（EV・PHV・FCV）の普及促進

##### 内容

- 令和 17（2035）年に新車のガソリン車販売が廃止になることに先んじて、電動自動車等（電気自動車/EV、ハイブリッド自動車/HV、プラグインハイブリッド自動車/PHV、燃料電池自動車/FCV）の普及を促進します。
- 「新市街地（みなくるタウン）」の産業立地促進ゾーンをはじめ、町内に急速充電器の設置普及と設置箇所の周知を進めます。
- 現在普及している車両のうち、「ZEV（ゼロエミッション・ヴィークル）で代替する車両がどのくらいあるか」検証するなど、次世代自動車導入助成事業を行います。
- 行政が率先して一般公用車の ZEV 化を図ります。

##### 4-2 次世代自動車普及促進部会における検討概要

- ◆EV車の普及については、充電インフラの整備が不十分であること、長距離走行ができないこと、車両価格が高いことなどが課題となっているが、近距離移動への活用や夜間に充電を行うなど、生活の行動変容や使い方を考えれば十分に利便性の高いものとなる。
- ◆まちづくりセンターや役場など地域の交流拠点として住民に来てもらいたいのであれば、EV充電設備の設置は必要と考えられる。
- ◆車両価格がどんどん高くなってきている現状の中で、補助金制度の創設を検討する必要がある。
- ◆EV車の購入の際に充電設備の問題が一つのハードルになっている。補助金等によりハードルを下げることは重要。また、補助金については、ディーラー等と連携しPRすることが必要である。
- ◆EV車の普及促進とあわせて、町内の交通利便性の向上を図る必要がある。公共交通への移行などにより、自動車に頼らない生活への変容を促すことで脱炭素につながる。

## 6 LED一斉導入事業（新規事業）

### 1 概要

久御山クールドミノ戦略（久御山町地球温暖化対策実行計画 事務事業編）第5期計画の取組として、2027年末の蛍光灯の製造・輸出入禁止を受けて、役場庁舎をはじめとする公共施設群の照明等のLED化一斉導入事業を推進。

### 蛍光灯の製造禁止について

**2027年末に蛍光灯の製造・輸出入が禁止されます！**

2024年2月  
一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入は2027年までに廃止されます

2023年11月の「水銀に関する水保条約 第5回締約国会議」において、一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を、2027年までに段階的に廃止することが決定されました。既に使用している製品の継続使用、廃止日までに製造された製品（在庫）の売り買い及びその使用が禁止されるものではありません。

廃止の時期（蛍光灯の種類ごとに廃止時期が異なります。）

種類	直管蛍光灯	環形蛍光灯	コンパクト蛍光灯
廃止年月日	2027年12月31日(※)	2027年12月31日(※)	2026年12月31日

写真(例)

(※) 直管蛍光灯/環形蛍光灯は一般タイプの「100V・熱電系」蛍光灯とフルミナマタイプ(三波長系)蛍光灯の2種類があり、互換性がありません。後者の方が高効率であり順次「100V・熱電系」の2026年末、「三波長系」の2027年末に、製造・輸出入が廃止されます。

※製造メーカーもテレビCMで宣伝

### 今後の想定スケジュール

令和7年1月	ワーキング会議開催
令和7年1月～7月	既存照明調査、シミュレーション
令和7年8月	実施計画（事業費の予算計上）
令和7年11月	当初予算要求
令和8年4月～6月	プロポーザル 業者選定
令和8年7月～	調査設計、施工

※ワーキング会議については、適宜開催する。

今後の想定スケジュール

各課からの回答

資料 2

施設名	担当課	LEDの方向性	参加の意向確認	所管施設のLED化済の箇所
役場庁舎	企画財政課	有	検討中	執務室など進捗率40%程度
笹豆菜	福祉課	有	有	これまでに予算の執行残額から徐々に部分更新中。R7対応として、実施計画で残部分を一并対応するとして約530万円の見積額で要望中。
いさきホール	福祉課	有	有	無
あいあいホール	子育て支援課	有	有	無
佐古浄水場	上下水道課	有	検討中	佐古浄水場敷地内の外部照明、中央管理棟の一部照明器具
北浦配水場	上下水道課	無		
クロスピアくみやま	産業・環境政策課	有	有	
佐山排水機場	建設課	有	有	
中央公園、公園	建設課	有	有	
交通安全灯、街灯	建設課	有	有	99%
佐山小学校	学校教育課	有	有	体育館
御牧小学校	学校教育課	有	有	体育館
東角小学校	学校教育課	有	有	体育館
久御山中学校	学校教育課	有	有	体育館
さやまこども園	学校教育課	有	有	ほぼ100%
とうずみこども園	学校教育課	有	有	約70%
みまきこども園	学校教育課	有	有	約70%
ゆうホール	生涯学習応援課	有	有	灯具が故障した場合にLED照明に交換している。 事務室：全14灯具中4灯具交換済み 他：交換済みは極少数
市民ホール	生涯学習応援課	有	有	無
総合体育館	生涯学習応援課	有	有	メインアリーナ天井照明：48灯具中11灯具をLED化済 ※残り37灯具分についても令和8年度までに全数購入予定。その後数年をかけて灯具交換。 その他：サブアリーナ、トレーニングルームについては灯具が故障した場合、LED照明に交換。現状全体の20%程度交換済み
図書館	生涯学習応援課	有	有	安定器が故障した場合にLED照明に修繕交換している。 開架室は11交換済みだが、その他事務室・書庫・学習室は未実施
消防庁舎	消防本部	有	有	事務所、廊下、食堂、手洗い場、東側ベランダ、習字センター、消防長室、団本部室、書庫、給湯室、大会議室倉庫、洗濯室、階段、トイレ、浴室、グラーゼ、中央倉庫、油庫

各課のLED化事業参加意向  
及び公共施設のLED進捗状況

本事業により、エネルギーコスト及び温室効果ガスの効率的な削減を目指す。

## 7 京都市立大学地域貢献型特別研究（ACTR）事業（連携事業）

### 1 概要

京都市立大学で実施されている地域貢献型特別研究（ACTR）の採択を受け、久御山町の住民・事業者を対象にアンケート調査を実施。調査結果をもとに今後の施策の検討材料とする。

### 2 アンケート調査

#### ○住民アンケート調査

実施期間：令和7年2月1日（土）～2月14日（金）

令和7年2月28日（金）～3月12日（水）※追加調査

調査手法：広報くみやま2月1日号にアンケート調査依頼文書を挟み込み、町内全戸配布（6,517戸）及びLINE配信により周知。WEBによる回答

主な調査内容：行政の環境の取組に対する満足度や関心度（選択式）

日常生活の中での省エネ行動の実践（選択式）

#### ○事業所アンケート調査

実施期間：令和7年1月22日（水）～2月7日（金）

調査手法：久御山町商工会に会員企業情報を提供いただき、582社に対して調査依頼文を送付。WEB、FAXによる回答

主な調査内容：省エネ推進、再エネ導入を進めるうえで事業者が求めるもの（選択式）

事業所の太陽光発電導入状況（選択式）

久御山町の住民の皆様へ

環境と暮らしに関するアンケート調査のお願い

平素は、久御山町の環境行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本町においては、令和5年10月に久御山町環境基本計画（久御山町地球温暖化対策実行計画「区域施策編」含む）を策定して、各種の環境施策を推進しておりますが、このたび、京都市立大学と久御山町が協力して、本町の環境をより良くしていくための資料を得るために、町民の皆様が環境と暮らしに関する意識調査をさせていただきます。アンケート内容は、統計数値として集計処理を行いますので、個人の名前や住所、ご回答内容が公になることは一切ございません。  
ご多忙のところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。なお、アンケートはご家族お一人ずつご回答をお願いします。  
回答は、以下のQRコードをスマートフォン（タブレット）で読み込んでいただくか、記載のURLを入力してPCから回答してください。令和7年2月14日（金）までに回答いただけると幸いです。

令和7年2月 久御山町  
京都市立大学

アンケート回答フォームURL・QRコード

1. 回答はあなた自身のお考えやご意見を記入してください。  
2. ほとんどの設問は選択式となっています。あてはまるものを選択してください。

URL  
<https://forms.gle/BjvUUTTD8gZSF3R7A>

QRコード

お問い合わせ先

久御山町事業環境部 産業・環境政策課環境企画係 担当者：福田、田中  
TEL：075-631-9964 又は 0774-45-3914 FAX：075-631-6149  
E-mail:sangyo@town.kumiyama.lg.jp  
京都市立大学  
責任者：森下 正修（公共政策学部 教授）  
担当者：松原 斎樹（生命環境科学研究科 特任教授）  
池田 維（生命環境科学研究科 特任助教）

久御山町商工会 会員事業所各位

京都市立大学 京都市立大学  
（協力：久御山町、久御山町商工会、京都市立大学）

令和7年1月22日

久御山町内の事業所・脱炭素経営の支援のためのアンケート ご協力をお願い

寒冷の候 貴社におかれましてはますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。  
日ごころは、当センターの活動につきまして格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
さて、当センターでは2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、行政と協力しながら事業所の脱炭素経営の支援を進めてまいります。その一環として、久御山町、久御山町商工会、京都市立大学及び京都市地球温暖化防止活動推進センターの4者で脱炭素経営等に関するアンケートを実施し、より効果的な施策・支援の検討に活用させていただきたいと考えております。アンケート結果よりご活用いただけるような支援に関する情報提供を検討していく予定です。  
つきましては、下記のとおり令和7年2月7日（金）までにアンケートへのご回答にご協力賜りますようお願いいたします。

記

1. アンケート名  
久御山町内の事業所・脱炭素経営の支援のためのアンケート（A4用紙3枚）  
・アンケート用紙を同封しております  
・ホームページよりWordファイルをダウンロード可能です  
[https://www.kcfca.or.jp/project/company-menu-to-zero/kumiyama\\_2025-01/](https://www.kcfca.or.jp/project/company-menu-to-zero/kumiyama_2025-01/)

2. 回答方法  
以下のいずれかにより京都市地球温暖化防止活動推進センターまでご提出ください。  
① FAX 075-803-1130迄  
② メール 2025-01@kcfca.or.jp  
③ web フォーム <https://forms.gle/w82M8homNaypM1FW9>

3. 回答期限  
令和7年2月7日（金）まで

4. 本アンケートに関するお問い合わせ先  
京都市地球温暖化防止活動推進センター（担当：浅井、川手）  
〒604-8417 京都市中京区西ノ京内堀町41番3  
電話：075-803-1128 FAX：075-803-1130 メール：2025-01@kcfca.or.jp

以上

## 8 その他（連携事業）

### （食品ロス削減京都府連携事業・ファミリーマートフードドライブ連携事業）

#### 1 食品ロス削減京都府連携事業（食品ロス削減に向けた専門家派遣事業）

##### （1）概要

京都府が実施する食品ロス削減事業の一環として、事業系一般廃棄物の大規模排出事業者となるスーパー等を対象に、専門家による廃棄物の減量アドバイス及び再生利用の働きかけを行う「専門家派遣事業」の採択を受けて、京都府と本町の連携事業を実施。

##### （2）実施期間

令和6年8月27日（火）～令和7年3月17日（月）

##### （3）調査対象店舗

久御山町内のスーパー4店舗

##### （4）事業内容

- ①各店舗への食品廃棄に関するアンケート
- ②専門家による現地視察、ヒアリング
- ③廃棄物減量に関する提案実施
  - ・手前取りの試験的導入や見切り品POPの工夫
  - ・販売期限の試験的延長
  - ・小幅値引きの実施改善
  - ・余剰食品のフードバンク・NPOへの寄贈検討 など

##### （5）事業結果

- ・大手スーパーチェーンにおいては、すでに食品ロスにおける取組を実施されており、食品廃棄物等の実態は概ね把握されているが、一方で販売期限の延長などは本社による統一的な運用が定められているため、各店舗における自由な取組が難しい状況となっている。
- ・一方、小・中規模事業者においては、そもそも食品廃棄物の実態把握が不十分であり、また、各店舗における取組は店長等の責任者に委ねられているケースが多いが、少人数で店舗を運営していることから新たな取組は業務負担につながることから実践が難しいといった回答となった。

(6) その他

今回の事業で協力をいただいた店舗に対し、環境政策プロモーション業務で作成した食品ロス啓発ステッカーを配布。



## 2 ファミリーマートフードドライブ連携事業

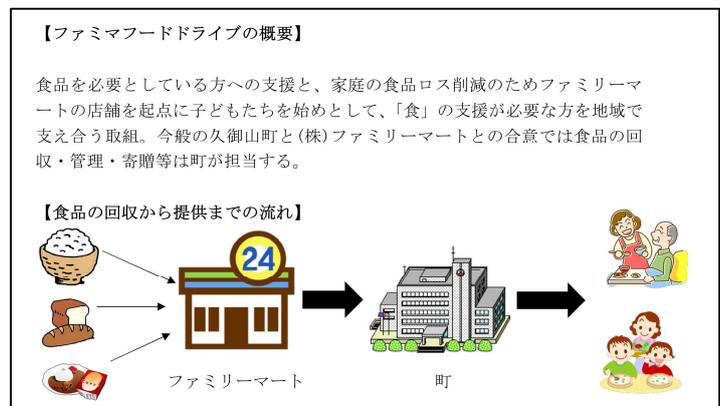
### (1) 概要

久御山町では、食品ロス削減推進事業の一環として、「フードドライブ事業」を実施しており、提供いただいた食品を町社会福祉協議会やこども食堂を運営しているNPO法人等へ提供している。

令和6年度においては、全国でコンビニチェーンを展開する株式会社ファミリーマートと「食品の提供に関する合意書」を締結し、町内3店舗のファミリーマートで回収した食品を町を通じて各種福祉団体等へ提供する取組となっている。

**フードドライブとは？**

ご家庭等で消費しきれない食品等を持ち寄り、広く必要としている方々に提供する活動で、“食品ロス削減”につながる取組です。



## 9 令和5・6年度事業における課題と検証

### 環境政策プロモーション業務

- ・令和5年10月の計画策定以降において、環境政策プロモーション業務を通じて、環境意識の醸成、町内外へのPR及び人材の育成・発掘に取り組んできた。
- ・環境学習については、各学校、生徒ともに概ね好評となっているが、町内3小学校とも同じ方針、方向性をもって学習する環境整備が重要となることから、カリキュラムに組み込むなどの持続的な取組が必要となる。
- ・町内外へのPRについては、イベントや広報誌等での見せ方を工夫するとともに、啓発品等の活用により、今後も効果的なPRを図っていきたい。
- ・人材育成・発掘については、個人レベルからの育成は非常に難しい部分があり、積極的に活動されている団体とともに環境施策の取組の輪を拡げていくなどの工夫を行う。
- ・農業と工業の二大産業に対する脱炭素の取組、ブランド力の向上については、ヒアリングを通じて課題が浮き彫りとなっている。町内事業者においては、大企業と中小企業等では、脱炭素の意識・取組に大きな温度差があり、特に中小企業等では、脱炭素に関する設備導入のコストの問題や事業活動へのメリットを見出せないといった意見が多くあった。（「取引先に求められない限り特段の対応は考えない」など）
- ・農業者においては、さらに顕著であり、環境負荷の低減につながる資材の活用などはコストが高く、経営的に見合わないなどの意見が多くあった。

### エコアクションポイント推進事業及び脱炭素促進補助金の創設

- ・EAP（エコアクションポイント）事業及び脱炭素促進補助金については、計画に基づき令和6年度に新規事業として創設したが、2030年目標の達成及び2050年カーボンニュートラルの実現のため、明確なインセンティブを与える事業として効果的な事業であると考ええる。
- ・今後は、EAP（エコアクションポイント）事業の登録者を増やす取組を実施するとともに、脱炭素促進補助金についても積極的な周知・広報を行いたいと考える。
- ・また、EV等の次世代自動車の普及促進のための新たな補助金についても次年度以降に検討を実施していく。

### 地域新電力事業の検討

- ・地域のエネルギーマネジメントを担う「地域新電力事業」の検討については、事業採算性の検討を行った結果、久御山町単独での実現は非常に厳しい結果となったが、周辺市町や既存の地域新電力事業者との連携など、新たな可能性を模索・検討していきたい。



その他

# 1 計画に定める温室効果ガスの削減に関する検証について

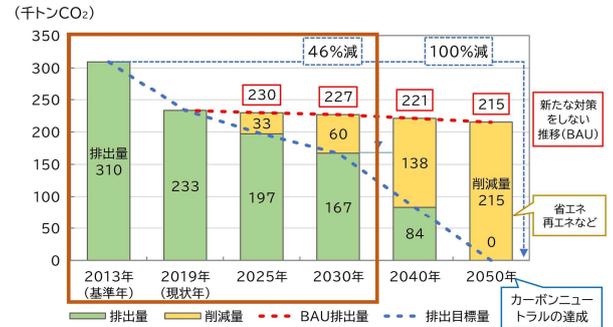
## 1 環境基本計画（地球温暖化対策実行計画「区域施策編」含む）に定める計画目標

③目標指標

<令和12（2030）年度までに、町域からのCO<sub>2</sub>排出量を46%削減します>

- 目標 基準年度比 46%削減 167千トン-CO<sub>2</sub>
- 基準年 平成25（2013）年度 310千トン-CO<sub>2</sub>

■久御山町のCO<sub>2</sub>排出量の現状と推計



## 2 自治体排出量カルテからみる削減量の比較

令和元年（2019年度）の排出量  
（環境基本計画の策定時の積算）

令和3年度（2021年度）の排出量  
（最新版自治体排出量カルテから抜粋）

部門	令和元年度 排出量 (千t-CO <sub>2</sub> )	構成比 (%)
産業部門	105	45
製造業	100	43
建設業・鉱業	1	1
農林水産業	4	2
業務その他部門	48	21
家庭部門	15	7
運輸部門	55	23
自動車	55	23
旅客	19	8
貨物	36	15
廃棄物分野（一般廃棄物）	3	1
小計	226	97
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外のガス		
燃料燃焼分野	0.6	0
自動車走行	0.6	0
農業分野	1.9	1
耕作	1.9	1
廃棄物分野	2.2	1
焼却処分（一般廃棄物）	0.02	0
埋立処分	0.000001	0
排水処理	2.2	1
代替フロン等分野	2.0	1
小計	7	3
合計	233	100

部門・分野	令和3年度 排出量 [千t-CO <sub>2</sub> ]	構成比
合計	211	100%
産業部門	99	47%
製造業	93	44%
建設業・鉱業	2	1%
農林水産業	4	2%
業務その他部門	44	21%
家庭部門	15	7%
運輸部門	51	24%
自動車	50	24%
旅客	16	7%
貨物	34	16%
鉄道	0.93	0%
船舶	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	2	1%

表中の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

### 3 環境基本計画における数値目標の検証

本町の区域施策編における温室効果ガスの削減目標値の積算については、太陽光発電をはじめとした再エネ導入率や次世代自動車の普及率など、各種の目標値を定めて「積み上げ方式」での算定となっている。

その中で、アンケート由来の削減積み上げも含んでいるため、温室効果ガスの削減量の詳細数値の算出は令和8（2026）年度に中間検証を実施する予定としている。

#### 1-3 ゼロカーボンシティ戦略

本町における令和32（2050）年を見据えたカーボンニュートラルの実現にあたっては、住民・事業者・行政など、多くの関係者が脱炭素に向けた取組に対する共通理解や合意形成を図り、行動変容につながることを目的としています。そのため、様々な施策を展開し、CO<sub>2</sub>削減シナリオ・目標の達成にとどまらず、地域の課題解決にも取り組んでまいります。

※「第5章 目指すべき将来像の実現に向けた取組」「基本目標1 脱炭素社会の構築」「1-1 ゼロカーボンシティ戦略」との整合性を図っています。

#### ■各種施策の展開

##### 具体的な取組① 省エネルギーの推進

- 日常生活における省エネ行動や省エネルギー効果の高い高効率な省エネ機器・設備、新しく建物を建てる際やリフォームの際には、ZEB・ZEH化など建物の省エネ性能の向上を図るなど、省エネルギーの推進を図ります。

省エネ行動の推進																																																																																																																																																																						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エアコンの上手な使い方など、日常生活における省エネルギー行動の普及に努めます。</li> <li>●「ゼロカーボンアクション 30」「COOL CHOICE」など、国が推奨している省エネルギー行動の普及・啓発に取り組みます。</li> <li>●住民向けの意識啓発及び補助事業等の導入や電力会社等との連携を図るとともに、「新しいライフスタイル」を提案します。</li> </ul>																																																																																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">計画 目標</th> <th colspan="9">■「短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている」の割合</th> </tr> <tr> <th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th> </tr> <tr> <th>【現状値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【中間値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【目標値】</th> </tr> <tr> <td>71.2%</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>84.5%</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>94.1%</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <th colspan="10">■「歯みがきや洗顔の時に水を出しっぱなしにしない」の割合</th> </tr> <tr> <th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th> </tr> <tr> <th>【現状値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【中間値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【目標値】</th> </tr> <tr> <td>67.4%</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>82.3%</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>92.3%</td> </tr> <tr> <th colspan="10">■「食材を購入するときに久御山町産の食材を意図的に選ぶ人」の割合</th> </tr> <tr> <th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th> </tr> <tr> <th>【現状値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【中間値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【目標値】</th> </tr> <tr> <td>-</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>40.0%</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>60.0%</td> </tr> <tr> <th colspan="10">■「エアコンのように、こまめに電源を切らない方が消費電力を抑えることができるなど、家電の特性を正しく理解した使い方をしている人」の割合</th> </tr> <tr> <th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th> </tr> <tr> <th>【現状値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【中間値】</th><th></th><th></th><th></th><th>【目標値】</th> </tr> <tr> <td>-</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>40.0%</td><td>→</td><td>→</td><td>→</td><td>60.0%</td> </tr> </thead></table>										計画 目標	■「短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている」の割合									2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	【現状値】				【中間値】				【目標値】	71.2%	→	→	→	84.5%	→	→	→	94.1%										■「歯みがきや洗顔の時に水を出しっぱなしにしない」の割合										2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	【現状値】				【中間値】				【目標値】	67.4%	→	→	→	82.3%	→	→	→	92.3%	■「食材を購入するときに久御山町産の食材を意図的に選ぶ人」の割合										2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	【現状値】				【中間値】				【目標値】	-	→	→	→	40.0%	→	→	→	60.0%	■「エアコンのように、こまめに電源を切らない方が消費電力を抑えることができるなど、家電の特性を正しく理解した使い方をしている人」の割合										2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	【現状値】				【中間値】				【目標値】	-	→	→	→	40.0%	→	→	→
計画 目標	■「短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている」の割合																																																																																																																																																																					
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030																																																																																																																																																													
	【現状値】				【中間値】				【目標値】																																																																																																																																																													
	71.2%	→	→	→	84.5%	→	→	→	94.1%																																																																																																																																																													
■「歯みがきや洗顔の時に水を出しっぱなしにしない」の割合																																																																																																																																																																						
2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030																																																																																																																																																														
【現状値】				【中間値】				【目標値】																																																																																																																																																														
67.4%	→	→	→	82.3%	→	→	→	92.3%																																																																																																																																																														
■「食材を購入するときに久御山町産の食材を意図的に選ぶ人」の割合																																																																																																																																																																						
2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030																																																																																																																																																														
【現状値】				【中間値】				【目標値】																																																																																																																																																														
-	→	→	→	40.0%	→	→	→	60.0%																																																																																																																																																														
■「エアコンのように、こまめに電源を切らない方が消費電力を抑えることができるなど、家電の特性を正しく理解した使い方をしている人」の割合																																																																																																																																																																						
2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030																																																																																																																																																														
【現状値】				【中間値】				【目標値】																																																																																																																																																														
-	→	→	→	40.0%	→	→	→	60.0%																																																																																																																																																														

中間検証の実施